



# 学校だより

令和4年度小川中学校

令和4年4月 8日発行

NO, 1

文責：小林浩一

## 令和4年度スタート

新入生19名（全校生徒49名）新任職員5名（全職員18名）総勢67名で今年度の小川中学校がスタートしました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、進級された3年生、2年生の皆さん、進級おめでとうございます。小川中学校職員一同、校訓「勇猛精進」を精神的な支えとし、教育目標「つよく、やさしく、思慮深く」の姿を実現するために、精一杯努めてまいりたいと思います。どうぞ、よろしくお願いたします。

### 令和4年度 小川中学校 教育目標と重点目標

～多様性を認める心を育む小川中～

〔学校教育目標〕

『つよく、やさしく、思慮深く』

〔目指す生徒の姿〕

『つよく』…強い意志と体を持ち、最後までやり抜く中学生

『やさしく』…思いやりのある心豊かな中学生

『思慮深く』…自己をみつめ正しい判断と行動のできる中学生

〔令和3年度の重点〕

①「自信と感謝のもてる生活」

②「未来を切り開く確かな学力」

③「一人一人が個性を発揮し、互いを認め合える環境」

【校訓】

「勇猛精進」～強い意志によって、油断なく心を集中して一心に進む～

### <入学式 学校長式辞>



うらかな日ざしの中、桜は花を開き、里山の木々は萌え、下草は緑を濃くしています。万物の躍動する春を迎えています。

本日この佳き日に小川村村長 染野 隆嗣様をはじめご来賓の皆様のご臨席を賜り、保護者の皆様とともに入学式が挙行できますことに心から感謝申し上げます。

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。皆さんの表情には中学校に入学する期待と不安が入り交じっているように感じられます。中学校は大人になるための準備をするところです。学習も難しくなりますし部活動や生徒会活動など大変なことも多く、楽しい場所とは言えないかもしれません。しかし、中学校は楽しくすることのできる場所です。自分たちで楽しくするのは、新しいことを学び、たくさんの人と出会い、将来の職業や進学先を考えたり部活動や生徒会で先輩たちと触れ合ったりしながら大きな夢を思い描いてほしいと思います。そのために必要なことは「本気」ということです。

私の好きな詩の一つに「本気」という詩があります。この詩は、後藤 静香さんという方のもので、聞いたことがあるかも知れませんが、紹介します。

本気ですれば たいていな事ができる 本気ですれば なんでも面白い  
本気でしていると だれかが助けてくれる 人間を幸福にするためにも  
本気で働いているものは みんな幸福で みんな偉い

というものです。

本気ですれば、たいていな事ができる。言い換えれば、本気になれば、たいていな夢や目標を叶えることができるということです。そうすることが中学校を楽しい場所にすることになるでしょう。先輩方や教職員一同、皆さんを「本気」で応援します。一緒に新しい生活をつくっていきましょう。

壇上に掲げられた額を見てください。ここには勇猛精進（ゆうみょうしょうじん）と記されています。この読み方については諸説があり「ゆうみょうしょうじん」とも「ゆうもうしょうじん」とも言い習わされた時代があるようです。読み方に差異があろうとも、その意味することが、「強い意志によって油断なく心を集中して一心に進む」ということになりはなりません。小川中学校が一番大切にしている言葉です。

中学時代は少年から青年に向かう心身ともに大きく成長する時期です。自分と他との関わりや社会との関係が分かることで様々なことに思い悩む時期でもあります。これから出会うことは楽しいことばかりではないでしょうが、自分の信念に基づいて困難を乗り越え、懸命に努力することをこの言葉は私たちに教えます。この校訓が小川村に生きる皆さんの背骨をつくり、血となり肉となり、小川村の風土を形成しています。皆さんが中学校生活を通して学ぶことは、まさにこの勇猛精進（ゆうみょうしょうじん）の精神です。ぜひ覚えてください。

さて、保護者の皆様方にご挨拶申し上げます。お子様のご入学おめでとうございます。私たち教職員一同は義務教育のまとめの三年間において、一人ひとりの自立に向け、自分の可能性を存分に開花できるよう身を引き締めてこの重責を果たしていきたいと決意しております。どうかお子様の健やかな成長のために学校と家庭との連携を深め、互いに手を携えてまいりましょう。

終わりにりましたが、ご来賓の皆様方におかれましては、公私ともご多用のところ、ご臨席を賜り、まことにありがとうございました。

多くの皆様方に多方面からお力添えをいただいておりますが、今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

あわせて、本席にご同席くださった皆様の益々のご健勝とご発展をお祈りし、式辞といたします。

令和四年四月六日 小川村立小川中学校長 山崎 伸一

### 〈新年度の決意。新2年生の言葉〉



私が一年生で頑張ったことは、主に勉強です。最初のテストでは、初めての定期テストだったので、不安はありましたが、だんだん慣れてきて、自分なりの勉強方法も決め、授業ではノートのとめ方を意識して受けることができました。定期テストでも、自分の目標点をキープすることができました。そして、勉強だけでなく、普段の生活面では、自分から積極的に挨拶することを心がけて生活できました。

二年生では、もっと自分からの挨拶を増やせるように頑張りたいです。また委員会活動では、保健・給食委員会として 当番活動を忘れずに、しっかり取り組むことができました。12月からは放送・体育委員会になり、最初はアナウンスを間違えてしまうことが多かったですが、だんだん慣れてきて上手にできるようになってきました。今年度は二年生になり、後輩もいます。なので、私が間違えてはいけません。後輩のお手本、頑張れる先輩になれるよう、先輩方の姿から学んだ

ことを生かしていきたいです。そして、部活でも先輩を引き継いでいけるように頑張りたいです。

二年生では、勉強も難しくなり、委員会も部活もあり、今よりもっとやる事が多くなります。そして、今度は私たちが後輩を引っ張っていくこととなります。なので、もう三年生に頼ることはできません。そのため今、私ができることをしっかり成しとげ、後輩にとって「頼れる先輩」になれるよう、三年生を見習っていきたいです。そして、今の生徒会を引き継いでいけるよう頑張りたいです。

(2年生代表生徒発表より)

### 〈新年度の決意。新3年生の言葉〉



4月になり、僕は3年生へと進級しました。僕はこの一年で達成したい目標が三つあります。

一つ目は受験に向けて、各教科の振り返りをしっかりとすることで。3年生はいよいよ受験の年となります。範囲も1年生からの全てに広がります。だからこそ今まで以上に学習内容の習得を頑張りたいです。また、日頃の授業もしっかりと聞いて、振り返りをしても困らないように、丁寧にノートをとりたいです。

二つ目は、行事についてです。3年生は 中学校生活の最後の一年となり、全ての行事に「最後」がきます。だから、若鷹祭などの行事を終えた時に、自分でも「よかった」と思えるようにしたいです。そのためには、準備や練習をして、悔いの残らない最高の一年にしたいです。

三つ目は挨拶を自ら進んでできるようにすることです。まず、初対面の人とでも挨拶をするかしないかで印象が大きく変わると思います。だから、僕は挨拶をすることだけではなく、なるべく自分から進んで行っていきたいです。そして、最高学年として後輩の手本であるように過ごしたいです。

僕はこの一年はあっという間に過ぎてしまうと思います。3つの目標を達成することはそう簡単ではないと思いますが、困難を乗り越えた先には自分も納得するような結果が待っていると思います。3つの目標を常に忘れずに1日1日を過ごしていきたいです。そして、このメンバーと過ごす最後の一年を存分に楽しんでいきます。(3年生代表発表より)

### 〈前期始業式 校長先生のお話より 4月6日(水)〉

はじめに、1年生のみなさん入学おめでとうございます。そして、2・3年生のみなさん進級おめでとうございます。今日から新しい年度、新しい学期が始まります。先ほど、新しい先生方を紹介しました。さらに先ほどの入学式で、新しい一年生19名が入学してきました。そして、今日から49名での令和4年度の学校生活がスタートとなります。

そのスタートにあたり、先ほど、2名の生徒から新年度の抱負の発表がありました。明確な目標を持ち、先輩として後輩のよき手本となり、自ら行動したいとの決意がありました。小川中学校の学校教育目標の「つよく」「やさしく」「思慮深く」を常に意識した日々が始まるとの期待が高まります。

さて、新型コロナウイルス感染が続き、マスク生活が約2年間続いています。ワクチン接種や感染症予防対策によって重症化のリスクは避けられています。一刻も早く特效薬が広く実用化されることを願うばかりです。昨年この始業式で「コロナに慣れるな、コロナを恐れるな」という言葉を紹介しました。「自



〈AKD49に合う言葉を考える〉

分は大丈夫だ」などと安心しないこと、一方で、極端に恐れてもいけないということです。今後も、学校は、新型コロナウイルス感染予防に努めながらも、学びを止めない。そして、一步一步前に歩み続けていきます。一緒にこの困難を乗り越えましょう。



〈校長講話の様子〉

さて、今年の小川中学校の重点目標は3つあります。「自信と感謝の持てる生活」「未来を切り開く確かな学力」「一人一人が個性を發揮し、互いに認め合える環境」です。

今日は、「自信と感謝の持てる生活」について話したいと思います。残りの2つは今後、校長講話等で話題にしたいと思います。

自信ある行動の表れとして、自ら声を出すことがあげられます。そして、自ら声を出す行動として、あいさつがあげられます。

あいさつは「心のキャッチボール」とよく言われます。あいさつをボールにたとえるとどうでしょう。朝、学校に登校して友達や先生に「おはようございます」と「あいさつのボール」を投げる。相手から「おはようございます」とボールが返ってくる。とてもすがすがしい一日がスタートするような気持ちになるものです。一つのあいさつが、相手や周りの人たちを明るくすることができるのだと思います。あいさつは「互いの存在を認め合う」という人間関係の基本」となるものです。自分がいさつした時に相手からあいさつが返ってこない、無視されたような気持ちになりませんか。人は誰でも、自分の存在を認められることはうれしいもので、安心した気持ちになれるものです。互いの存在を認め合い、尊重し合う学校にしませんか。そこから、感謝の気持ちも生まれてきます。

私は、昨年度まで仕事の関係で多くの学校を訪問しました。それぞれの学校の玄関に入ると、その学校の雰囲気や様子がよくわかります。生徒の皆さんが「こんにちは」と元気よくあいさつをしてくれる学校は、学校全体が活気に溢れ、明るい雰囲気が漂っています。あいさつって大切だなと感じる瞬間です。

スタートにあたり、あいさつは「おはようございます」「さようなら」だけでなく、「こんにちは」のあいさつもしていきたいですね。ぜひ、声を出すあいさつを実践して欲しいと思います。

そこで あいさつ向上の合い言葉「AKD49」としたいと思います。

A・K・Dが、どんな言葉の頭文字か推理してください。さらに、あいさつについて自分の考えをまとめてください。2・3年生の皆さんは教室に戻って、感想記入用紙に書いてください。1年生は家に帰ってから考えてみてください。答えは、あさって昇降口に掲示していただきます。

※A・・・明るい K・・・声を出し D・・・どんな時も 49は全校生徒数

「小川中全生徒49名が、あかるいあいさつ、声を出すあいさつ、どんな時もあいさつできる一人一人になろう」という願いを込めています。

さて、再度確認です。来客される方にも、保護者の方にも、何よりも生徒同士、先生とも「おはようございます」「さようなら」だけでなく、「こんにちは」の声を出すあいさつの輪を広げていきましょう。

この実践がきっと小川中学校の誇り、プライドになっていきます。

私も、積極的にみなさんに声を掛けます。合い言葉は『AKD49』これからも、あいさつが飛び交う自信と感謝にあふれる小川中学校であってほしいと願っています。今日からともに頑張りましょう。終わります

### 〈校長講話の感想より〉

今日は正直なところとても緊張していて校長講話の内容を詳しく覚えていませんが、一つだけ心に残ったことがあります。それは挨拶をされると清々しい気持ちになるというところが僕も同じ気持ちになりました。小学校では挨拶を積極的にする委員会でした。挨拶してもされてもとても清々しい気持ちになると思います。僕の考える「AKB 49」はA・・・あいさつ K・・・かならず D・・・できる 49・・・49人だと思います。(1年生男子)

A・・・挨拶は K・・・こんにちはを D・・・大事にする 49・・・49人。今年度は自分から挨拶することを心がけて「おはようございます」はもちろん「こんにちは」の挨拶も大切にしていきたいです。全校が挨拶できる学校にしたいです。(2年生女子)

A・・・ありがとう K・・・こんにちはを D・・・ダイレクトに 49・・・49人に伝えよう！とてもよい語呂合わせだと思います。これなら、すぐ覚えられるので、日常でも意識しやすいです。(3年生男子)

### 〈全校オリエンテーション・対面式・生徒会説明会・部活動発足会(2,3年生)4月7日(木)〉



〈全校オリエンテーション〉



〈対面式エール〉



〈対面式 新入生代表生徒挨拶〉

4月7日(木)に全校オリエンテーション、対面式、生徒会説明会が新入生を迎えて行われました。まず、全校オリエンテーションでは、生活のきまり、学習、一人一台端末の使用説明、清掃、給食、保健室利用について、担当の先生より説明が行われました。

新入生はもちろんですが、2,3年生も再確認するように真剣に説明を聞いていました。確認されたことを意識して学校生活を送れるといいですね。

5時間目には対面式、生徒会説明会が行われました。2,3年生が花のアーチをつくって新入生を迎え、生徒会長の歓迎の言葉に始まり、生徒手帳の贈呈、1年生へのエールなど暖かい雰囲気で行われました。

生徒会説明は各委員会の正副委員長さんが丁寧に説明してくれたのでよく伝わったと思います。

3年生のみなさん、準備ありがとうございました。



〈花道を通っての入場〉



〈各部の決意表明〉

放課後には、2,3年生の部活動発足会が行われました。ここでも部活動のルールや心構えが確認されました。校長先生のお話にもありましたが、今まで活動ができなかった期間の分も含めて、思い切り部活動を行ってほしいと思います。

## 令和4年度 職員組織紹介

- ・校長：山崎 伸一
- ・教頭：小林 浩一
- ・教務主任：森本 勲      副教務主任：遠藤 公洋
- ・学年学級担任

学 年	氏 名
1 学年	遠藤 公洋、      高橋 芽衣      (宮崎 久美子) (黒沢 美鈴)
2 学年	山崎 俊二、      伊藤 衣里菜、      (山口 紀子)
3 学年	小木曾 聖華、      西田 陽子      (森本 勲) (黒沢 美鈴)
3 組	宮崎 久美子      (森本 勲)
4 組	山口 紀子      (森本 勲)

研究主任	伊藤 衣里菜	村費 講師	西田 陽子
特別支援教育コーディネーター	小林 浩一	村費 非常勤	小出 俊彦
	山口 紀子	A L T	サラ・ワルサー
生徒指導主事	山崎 俊二	校務手	和田 久憲
進路指導主事	森本 勲	学校司書	太田 咲里
保健主事	小木曾 聖華	学校医 (内科)	小林 和生
人権教育推進教員	山口 紀子	(眼科)	小谷 幸雄
養護教諭	黒沢 美鈴	学校歯科医	高橋 優彰
主 幹	田卷 一己	学校薬剤師	金川 和之
技術 (兼務)	山上 道夫		
スクールカウンセラー	丸山 歌織		

このメンバーで本年度お世話になります。よろしくお願いたします。